

自由民主党静岡県支部連合会

幹事長 良知淳行 様

飼料価格高騰対策及び酪農対策

に関する酪農家緊急要請

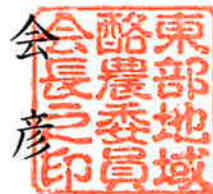
令和5年2月7日

東部地域酪農委員

委員長 土井 一彦

西部酪農委員

委員長 伊藤 光男



飼料価格高騰対策及び酪農対策に関する酪農家の緊急要請

日ごろ、本県の農畜産業の振興につきまして、格別なご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、長期化するコロナ過やウクライナ情勢、円安等による影響による配合飼料価格ならびに乾牧草価格の急激な高騰、水道・電気・ガス等燃料費の上昇、収入の一部である子牛価格の下落など複合的な要因によって、酪農家の経営環境は危機的状況となっており、多くの酪農家が廃業に追い込まれています。

政府では、令和4年10月以降、補正予算等による支援策を講じて頂いていますが、いまだに多くの酪農家で厳しい経営が続いています。

つきましては、さらなる酪農家の負担軽減ならびに今後の経営安定につなげるよう、次の事項について特段のご配慮をいただきますようお願いいたします。

記

1. 県としての飼料価格高騰対策の実施

酪農経営継続に向け、県下酪農家として国産飼料の利用を図っていくため、県として、耕種農家に対して自給飼料作物への積極的な転用を促すとともに、酪農家・耕種農家間のマッチングを支援するなど、国産飼料の拡大に向けた施策を講じること。

また、現在、乾牧草に対するセーフティーネットがないため、価格上昇分がすべて酪農家の負担となり経営を圧迫している。乳牛の特性上、給与飼料のうち4割から5割は乾牧草を給与しなければならず、価格上昇分の負担割合が大きくなっている。

については、県の「飼料価格高騰緊急対策」に乾牧草を加えること。

2. 国に対する酪農対策の実施の働きかけ

牛乳や乳製品の消費低迷が続く中、国内で8万5,000トンを超える脱脂粉乳が過剰在庫となっており、酪農家の収入を確保し経営を継続するためには、牛乳や乳製品の消費拡大や過剰在庫の解消を図る必要がある。

については、酪農家及び関連団体として引き続き消費拡大に努めていくため、海外輸出等の実施等、早期の脱脂粉乳の在庫解消に向けた施策の実施を国に働きかけること。

併せて、今後の酪農経営安定のため、肉用牛や養鶏、養豚における価格補償制度のような「生乳版マルキン」制度を早期に創設を国に働きかけること。

以上